



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 日本食品化工株式会社

上場取引所 東

コード番号 2892 URL <http://www.nisshoku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 慎一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部主計課長 (氏名) 柳 将一

TEL 03-3212-9112

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	46,637	6.0	1,293	△36.5	1,488	△30.4	1,057	△22.5
25年3月期第3四半期	43,984	△0.9	2,035	998.4	2,138	421.2	1,363	539.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 968百万円 (△32.5%) 25年3月期第3四半期 1,435百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	42.98	—
25年3月期第3四半期	55.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	41,041	17,912	17,912	43.6	728.14	
25年3月期	42,852	17,263	17,263	40.3	701.76	

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 17,912百万円 25年3月期 17,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	13.00	13.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,000	6.5	1,700	△24.6	1,900	△20.2	1,300	20.9	52.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	32,000,000 株	25年3月期	32,000,000 株
26年3月期3Q	7,399,823 株	25年3月期	7,399,403 株
26年3月期3Q	24,600,261 株	25年3月期3Q	24,601,347 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による金融緩和をはじめとした景気対策や2020年の東京オリンピック招致の決定により企業の景況感が改善されるなど景気回復に向けた兆しが見えつつも、中国経済の先行き懸念、急激な円安による輸入原材料価格の高騰、消費税増税に対する不安感などにより、国内景気の先行きは不透明な状況が続きました。

原料とうもろこしのシカゴ相場は、期初642.25セント/ブッシェルで始まりましたが、12/13年産とうもろこしの在庫がひっ迫していたことや、13/14年産とうもろこしの米国中西部での低温・多雨による作付遅延から、5月中旬には700セント/ブッシェル台まで値を上げました。その後、とうもろこしの作付が急速に進み、また中西部の天候も収穫まで概ね良好であったことから、史上最高の生産高見通しによる需給の緩和観測により、11月には410セント/ブッシェル台まで値を下げ、第3四半期末時点では422.00セント/ブッシェルとなりました。

また、原油相場は期初97.07ドル/バレルで始まりましたが、国際エネルギー機関(IEA)による2013年の原油需要見通しの下方修正や中国経済の先行き懸念を受け、4月中旬に86.68ドル/バレルまで値を下げました。しかし、中東での政治的、軍事的な緊張の高まりや、スエズ運河やパイプライン等の原油輸送の要衝を抱えるエジプトでの国内武力紛争により、9月上旬には110ドル/バレル台まで上昇しました。その後、リビアでの原油の生産再開、アメリカでのシェールガスの増産による原油在庫の増加を受け価格は下落し、第3四半期末時点では98.42ドル/バレルとなりました。

一方、米国から日本までの穀物海上運賃は期初52ドル/トン近辺で始まり、中国における鉄鋼製品の供給増・価格下落により鉄鋼原料輸送が鈍化し値を下げる場面もありましたが、米国シェールガスの生産本格化による石炭価格下落により米国産石炭の荷動きが増加傾向となったことや、米国産新穀の輸出ピーク時を迎えたことなどから、10月には55ドル/トンまで上昇しました。その後は、依然新造船の供給圧力が強いことから上昇には至らず、第3四半期末時点では54ドル/トン台となりました。

為替相場は期初95.39円/ドルで始まり、日銀の市場の期待を上回る量的・質的金融緩和や、G7財務相・中央銀行総裁会議での円安批判の回避等を受け、一時104円/ドル台後半となりました。その後、日米の株安や中国経済の先行き懸念からリスク回避の動きが強まり、6月中旬には95円/ドル台まで円高となりましたが、米国の株式市場の上昇、日米金融政策の方向性の違いなどを背景に円安傾向が続き、第3四半期末時点では106.39円/ドルとなりました。

このような状況のもと、当社グループは生産効率の改善、製品在庫水準の適正化及び各種コスト削減に継続的に取り組むとともに、前期に引き続き付加価値製品の拡販に注力しました。

販売面につきましては、例年にない早い梅雨明けとその後の猛暑により7月の清涼飲料向け糖化製品の出荷数量は大幅に伸びましたが、ビール系飲料及び調味料向けの糖化製品の出荷が伸びず、第3四半期末時点では糖化製品全体の販売数量は大幅に減少しました。また製紙向けの工業用澱粉は製紙各社の生産調整により、澱粉製品の販売数量は減少しました。

収益面につきましては、販売価格の改定により上期の収益は順調に推移しましたが、10月以降は糖化製品などの販売数量の減少及び円安などの影響により収益は悪化しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は466億3千万円となり前年同期比26億5千万円(6.0%)の増収、営業利益は12億9千万円と前年同期比7億4千万円(36.5%)の減益、経常利益は14億8千万円と前年同期比6億4千万円(30.4%)の減益、四半期純利益は10億5千万円と前年同期比3億円(22.5%)の減益となりました。

次に、各部門の販売状況は以下のとおりであります。

(澱粉部門)

澱粉部門は、製紙向け工業用澱粉の販売数量は減少しましたが、価格改定により売上高は109億7千万円と前年同期比1億1千万円(1.1%)の増収となりました。

(糖化製品部門)

糖化製品部門は、ビール系飲料及び調味料向け糖化製品の販売数量は減少しましたが、価格改定により売上高は289億円と前年同期比18億1千万円(6.7%)の増収となりました。

(ファインケミカル部門)

ファインケミカル部門は、食品向け糖質及び医薬向け澱粉製品の販売数量が減少したことにより売上高は14億4千万円と前年同期比1千万円(1.3%)の減収となりました。

(副産物部門)

副産物部門は、販売数量が減少しましたが、価格改定により売上高は53億円と前年同期比7億3千万円(16.1%)の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における総資産は、410億4千万円となり、前連結会計年度末と比較して18億1千万円の減少となりました。その主な要因は、原材料及び貯蔵品が12億3千万円、短期貸付金が13億円減少したこと等によるものです。また、負債については、前連結会計年度末と比較して24億5千万円の減少となりました。その主な要因は、未払法人税等が8億8千万円、課徴金引当金が4億4千万円、借入金(純額)3億4千万円減少したこと等によるものです。

なお、純資産は179億1千万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して3.3ポイント増加し、43.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下資金という)の残高は、5億6千万円となり、前連結会計年度末と比較して5億円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は2億2千万円(前年同期比86.4%減)となりました。

これは主として、税金等調整前四半期純利益16億2千万円に減価償却費13億9千万円を加算した額から課徴金の支払額4億7千万円及び法人税等の支払額13億3千万円を控除した額等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は5千万円(前年同期比98.2%減)となりました。

これは主として、貸付金の回収(純額)13億円から当社工場設備への投資などの有形固定資産の取得による支出13億7千万円を控除した額等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は6億7千万円(前年同期比25.2%減)となりました。

これは主として、借入金の減少(純額)3億4千万円及び配当金の支払額3億1千万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年10月31日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,068	566
受取手形及び売掛金	11,822	11,504
商品及び製品	3,742	3,872
仕掛品	2,153	2,392
原材料及び貯蔵品	4,754	3,517
繰延税金資産	491	466
短期貸付金	2,400	1,100
その他	671	1,755
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	27,102	25,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,207	3,204
機械装置及び運搬具(純額)	5,194	4,804
工具、器具及び備品(純額)	137	134
土地	1,862	1,862
リース資産(純額)	72	59
建設仮勘定	841	1,239
有形固定資産合計	11,316	11,306
無形固定資産		
	265	345
投資その他の資産		
投資有価証券	3,156	3,225
長期貸付金	9	6
繰延税金資産	813	796
その他	192	191
貸倒引当金	△3	△5
投資その他の資産合計	4,167	4,214
固定資産合計	15,749	15,866
資産合計	42,852	41,041

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,404	2,260
短期借入金	3,442	500
未払金	3,404	3,158
未払法人税等	893	6
賞与引当金	1,084	748
役員賞与引当金	16	8
課徴金引当金	448	—
その他	232	256
流動負債合計	11,926	6,939
固定負債		
長期借入金	9,910	12,510
退職給付引当金	3,168	3,200
役員退職慰労引当金	20	—
長期未払金	132	60
資産除去債務	379	380
その他	52	38
固定負債合計	13,662	16,190
負債合計	25,588	23,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,600	1,600
資本剰余金	328	328
利益剰余金	16,974	17,712
自己株式	△2,145	△2,145
株主資本合計	16,757	17,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	267	253
繰延ヘッジ損益	161	90
為替換算調整勘定	77	73
その他の包括利益累計額合計	505	417
純資産合計	17,263	17,912
負債純資産合計	42,852	41,041

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	43,984	46,637
売上原価	35,664	38,975
売上総利益	8,320	7,662
販売費及び一般管理費	6,284	6,368
営業利益	2,035	1,293
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	37	48
持分法による投資利益	178	237
試作品売却益	28	29
受取ロイヤリティー	19	25
受取保険金	44	19
その他	22	24
営業外収益合計	331	385
営業外費用		
支払利息	174	135
固定資産除却損	15	46
その他	38	9
営業外費用合計	229	191
経常利益	2,138	1,488
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	—	171
特別利益合計	1	171
特別損失		
弁護士報酬	23	7
課徴金	—	25
特別損失合計	23	33
税金等調整前四半期純利益	2,116	1,626
法人税、住民税及び事業税	779	464
法人税等調整額	△26	104
法人税等合計	752	568
少数株主損益調整前四半期純利益	1,363	1,057
四半期純利益	1,363	1,057

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,363	1,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△13
繰延ヘッジ損益	22	△70
持分法適用会社に対する持分相当額	37	△4
その他の包括利益合計	72	△88
四半期包括利益	1,435	968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,435	968
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,116	1,626
減価償却費	1,443	1,392
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△6	△20
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	121	32
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△171
受取利息及び受取配当金	△38	△49
支払利息	174	135
持分法による投資損益 (△は益)	△178	△237
固定資産売却損益 (△は益)	△1	—
固定資産除却損	15	46
弁護士報酬	23	7
課徴金	—	25
売上債権の増減額 (△は増加)	△754	318
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△249	867
仕入債務の増減額 (△は減少)	△79	△144
その他	△660	△1,804
小計	1,925	2,024
利息及び配当金の受取額	159	146
利息の支払額	△173	△132
課徴金の支払額	—	△474
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△252	△1,338
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,659	225
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,412	△1,378
有形固定資産の売却による収入	1	—
無形固定資産の取得による支出	△45	△152
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	—	210
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△1,400	1,300
長期貸付金の回収による収入	2	2
その他	0	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,857	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,110	3,100
長期借入金の返済による支出	△2,873	△3,442
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△120	△313
リース債務の返済による支出	△17	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△902	△675
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,100	△501
現金及び現金同等物の期首残高	3,271	1,068
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,171	566

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。